

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度第1回野外体験教室運営協議会				
事務局 (担当課)		相模川自然の村野外体験教室 電話042-760-5445(直通)				
開催日時		平成30年7月12日(木)14時00分~15時50分				
開催場所		相模川自然の村野外体験教室 3階 応接室				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	その他	無				
	事務局	5人(宮坂所長 他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		所長挨拶 委嘱状交付 委員自己紹介・職員自己紹介 相模原市立野外体験教室運営協議会要綱説明 会長及び副会長挨拶 議題 1 平成29年度事業報告等について (1) 施設の概要について (2) 利用状況について (3) 活動状況について(学校利用・主催事業等) (4) アンケートの結果から 2 平成30年度事業計画等について (1) 運営方針について (2) 利用計画について (3) 主催事業、地域連携、他課との連携計画等について 3 協議・意見交換 4 その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 平成29年度事業報告等について

(1) 施設の概要について

スライドにより説明(質疑なし)

(2) 利用状況について

年報の1、2、7及び22ページにより説明

平成28年度と比べ、若あゆの青少年団体の「その他」が増えた理由は、

シュタイナー学園の全国行事や町田市教育委員会の初任者研修が初めて行われたほか、児童クラブの利用が増加していることなどが主な理由となっています。

主催事業は利用状況をどのように計上しているのか。

主催事業1回を1団体として計上しています。

(3) 活動状況について(学校利用・主催事業等)

年報の9から12及び24から27ページにより説明

主催事業の参加者数は、応募者数に対して3分の2となっている。より多くの方々に参加していただくため、今後、拡大する考えはあるのか。

昨年度の会議でも同じようなご意見をいただいたことから、今年度は若あゆでは昨年度実施しなかったスターフェスティバル12月に実施し、やませみでは自然体験スクールを昨年度の1回から2回に増やすことにしました。

昨年度は青少年団体の利用日程確保のために主催事業を削減しましたが、利用者が少ない冬季に主催事業を開催し、利用促進を図りたいと考えております。

主催事業を絞ってきたが拡大するということで理解した。

10月14日実施の若あゆ食農体験デーでは、58家族の応募で37家族が当選したが、参加は28家族で9家族の減少となっている。キャンセルが出ないための方法はないか。

体調を崩すなどで急遽不参加となる場合がありますが、それを見越して多めに当選者を出しています。キャンセルが出た場合に、他の方への呼び掛けも検討していますが、急遽参加してもらうことは難しいのではないかと考えております。

当選者には落選された方がいるという案内を行えばキャンセルを抑えられるのではないか。

当選者への案内について検討します。

若あゆとやませみで異なる体験メニューがあり、小学校と中学校で違う体験ができる子どもは幸せだと思う。若あゆの藍染は生の葉から行っているのか。

色は薄いのですが、生の葉から色をいただくという趣旨で行っています。た

だし、葉の収穫と夏休みが重なり、実施できる時期が限られることが難しいと感じています。

傷病状況で重篤な事例はあったのか。

救急搬送を要する重篤な事例はありませんでした。

冷房が効かないなど施設側の原因で熱中症などが出るのは避けなければならない。

やませみでは朝6時半頃に子どもたちが外で遊んでいて、腕を骨折した例があった。活動中ではなくフリータイムに怪我の危険があるのではないか。

危機管理マニュアルではヒヤリハット報告書の作成が定めているので、蓄積していけば事故防止に役立つのではないか。

若あゆは川の近くの施設ということで、水の災害に対してどのような対策をしているか。

相模川に氾濫の危険性がある場合には、3階に避難するよう誘導します。食糧なども3階で備蓄し、浸水しないようにしています。今年度から洪水を想定した訓練の実施も予定しています。

台風の接近が予想される際など、来るか来ないかは学校の判断となるのか。

台風などの際には、事前に学校と連絡を取り合いながら連携しています。

やませみにも一部土砂災害計画区域の指定がありますので、台風の進路などがはっきりした時点で学校と連絡を取り合っています。

台風の対応については、今年度の若あゆの利用にあたり、本校も連携を行った。アレルギー対応はしっかり行っていると思うが、保護者や学校からの情報が止まらないよう、連携をお願いしたい。

学校や青少年団体、保護者からの情報は、レストランと担当者間で連携を図っています。

最近増えている布団などのアレルギー対応は行っているのか。

相談があれば対応していきます。

子ども達と避難訓練を行ったことはあるのか。

3年ほど前に行ったことがあります。今後も学校のニーズを踏まえて行っていきたいと考えています。

入所式では避難場所、経路は必ず説明しています。

子ども達の命を預かる施設なので、危機管理は今後も大事にしていきたい。

(4) アンケートの結果から

資料の2から10ページにより説明

6ページの若あゆの青少年団体のアンケート結果で、青少年団体の食事について「不満足」等の回答がある。少しはやむを得ないと思うが、可能なものは改善をお願いしたい。

同じく6ページの「活動について」で、「職員の支援」の「やや悪い」が1件となっているが、どのような内容だったのか。

詳細を確認の上、後日お知らせします。

確認結果は次のとおりです。

回答した団体：幼稚園

理由：当該幼稚園と同じ日程で宿泊する幼稚園数について、事前に電話問合せした際と説明会での説明に相違があったため。

ふれあいホールへの冷房の設置は難しいのか。

平成30年度もエアコン設置のための予算要求をしましたが、予算措置は難しい状況にあります。現在のところ、扇風機と冷風機で熱中症予防に努めています。

年報の利用計画に「学校日帰り指定日」とあるが、日帰りでも学校が来ているのか。」

米や野菜作りなどの農業の継続利用が中心で、多い学校は年間3、4回来ています。

2 平成30年度事業計画等について

(1) 運営方針について

資料の11ページにより説明（質疑なし）

(2) 利用計画について

資料の15、26ページにより説明

若あゆの7月の幼稚園利用はお泊り保育での利用か。

幼稚園、保育園等による宿泊利用です。

中学校の1泊利用が増えてないか。

30年度から各学校による1泊または2泊以上の希望制とし、1泊と2泊の学校数が概ね半々となりました。

利用時期が希望どおりにならならずインフルエンザの時期に当たることや、教育課程の編成上の理由で1泊の利用もやむを得ない状況となっている。学区によっては小学校、中学校ともに若あゆ利用となっている所もある。効果的な利用を図っていきたい。

やませみの利用計画にある「つくいっ子お泊り隊」、「母ちゃんず」とはどのような団体か。

「つくいっ子お泊り隊」は、津久井中央公民館による利用で、事業の名称です。「母ちゃんず」は、東日本大震災による福島原発事故の影響で安心して外遊びができない子どもや、不安を抱えながら生活している保護者のリフレッシュのための保養キャンプで、主催するボランティアグループの名称です。

(3) 主催事業、地域連携、他課との連携計画について

今年度も沢井文化展はあるのか。

今年度も開催されます。

3 協議・意見交換

鼓笛隊で学校の施設が借りにくくなっているのに、若あゆを使わせてもらっている。指導者が働いていると宿泊できないこともあるが、今後はやませみも利用させてもらいたい。よろしくお願いします。

やませみの主催事業が2回となったが、人気があるので、施設の環境を活かして夏の開催もお願いしたい。

子どもが小学校で若あゆを利用し、現在も思い出に残っている。大学生もサークルで使うことができると良いと思うが。

教育施設として設置しており、子どもの教育を目的とする団体なら利用が可能です。大学生のサークルによる利用につきましては、今後、施設を有効活用していくためのご意見として参考にさせていただきます。

広報さがみはらで指定管理者募集の記事を見たが、若あゆは民営化するのか。

現在、若あゆでは子ども達への教育は職員が直営で行い、食堂の運営や施設管理を指定管理者に委託しています。今年度末に指定管理者の更新時期を迎えるため、現在公募の手続きを進めているものです。

8月3日から5日まで、政令指定都市ジュニアリーダー大会を若あゆで開催する。この場で情報提供させていただく。

4 その他

学校利用等施設運営についての課題を検討しているため、今年度2回目の会議開催を1月頃予定しており、日程については、正副会長と事前に調整させていただくことを事務局より報告した。

野外体験教室運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	福井 智紀	麻布大学	会長	出席
2	久保田 康隆	鶴の台小学校		出席
3	馬場 尚子	上鶴間中学校		出席
4	福田 豊	相模原市子供会育成連絡協議会		出席
5	高橋 由美子	相模原市少年鼓笛バンド連盟		出席
6	中里 良治	下大島地区ふれあい農業組合		欠席
7	海野 康子	活動協力者		出席
8	中里 健	大島観光協会	副会長	出席
9	大澤 芳雄	活動協力者		出席
10	鈴木 洋子	公募委員		出席
11	瀬間 一美	公募委員		出席